

TOTO

アクアオート(コンテンポラリタイプ)機能部埋め込み型 単水栓 TEN12A1B型



商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。





1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)



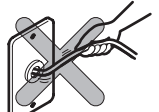


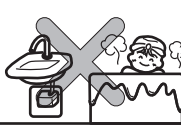
取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。





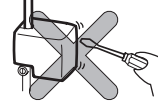
●この説明書では商品を安全に正しく取り付けただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。



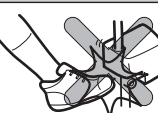



●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

表示	意味
 警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

	してはいけない「禁止」内容です。
	風呂、シャワーなどの「水場での使用禁止」内容です。
	分解しないでください。
	必ず実行していただく「強制」内容です。

 警告		
 禁止	コードを乱暴に扱わない 火災の原因になります。	
	直流電流や異電圧の電源での使用は避ける 火災の原因になります。	
 水場使用禁止	浴室など湿気の多い場所には設置しない 故障・感電の原因になります。	

 警告		
 必ず実行	電源線をコネクターに差し込むときは根元までしっかり差し込む 火災の原因になります。	
 分解禁止	修理技術者以外の方は、この説明書に記載された項目以外は絶対に分解・修理・改造は行わない 故障・感電の原因になります。	

 注意		
 禁止	強い力や衝撃を与えない 破損してけがをしたり、故障や水漏れの原因になります。	
	屋外や凍結が予想される場所には設置しない 故障の原因または、部品が破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。凍結のおそれがある場合は、周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となります。	
 必ず実行	フィルターの掃除をする際は、いきなりフィルターふたをゆるめずに、止水栓を閉めてから行う 湯水が噴き出して、やけどや家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	

2

仕様

品番	TEN12A1B型	
タイプ	AC100Vタイプ	
電源電圧	AC100V 50/60Hz	
消費電力	待機時	0.4W
	動作時	0.6W
給水圧力	最低必要水圧	0.05MPa(流動時)
	最高水圧	0.75MPa(静止時)
使用可能水質	水道水および飲用可能な井戸水	
使用環境温度	1~40℃	
感知距離	学習方式による感知距離変化型 (セットアップされる陶器により、自動で感知距離を設定します)	
電源コード長さ	0.75m(電源線直結・コネクター同梱)	
センサーコード長さ	1.05m	
スパウト連結ホース長さ	0.75m	
陶器取り付け穴径	φ28・φ35	
吐水流量	定流量弁(4L/分)により上限カット 必要に応じ止水栓にて流量調節可能	
給水接続	床給水 Rc1/2	
用途	パブリックおよび一般住宅洗面所用	

3

取り付け前に

1. 給水圧力の確認

- 給水圧力範囲は、0.05~0.75MPaです。この圧力範囲内でご使用ください。
- 給水圧力が0.75MPaを超える場合、市販の減圧弁で0.2~0.3MPaに減圧してください。
快適に水栓をお使いいただくためには、0.2~0.3MPa程度の水圧をおすすめします。

2. 取り付け条件の確認

- 電源はAC100V(50/60HZ)、最高消費電力は0.6Wです。
必ずこれに適した配線をしてください。
- 現場手配の部材は、必要に応じて以下のものをご使用ください。
 - ・電線管.....合成樹脂製可とう電線管 (JIS C8411 呼び16)
 - ・電線管コネクター.....合成樹脂製可とう電線管用附属品 (JIS C8412 呼び16)
 - ・スイッチボックス.....JIS C 8340 1個用スイッチボックス
 - ・ユニバーサルボックス.....JIS C 8330 ユニバーサル
 - ・電源線.....600Vビニール絶縁電線またはケーブル
(φ1.6~φ2mmの単線もしくは2mm²のより線)
※より線の場合はパナソニック電工(株)製(WV2502)相当の絶縁被覆付き棒型圧着端子(フル端子用1.25mm²~2mm²)をお使いください。
- 万一の際の危険防止のため、過電流遮断器および漏電遮断器を必ず設置してください。

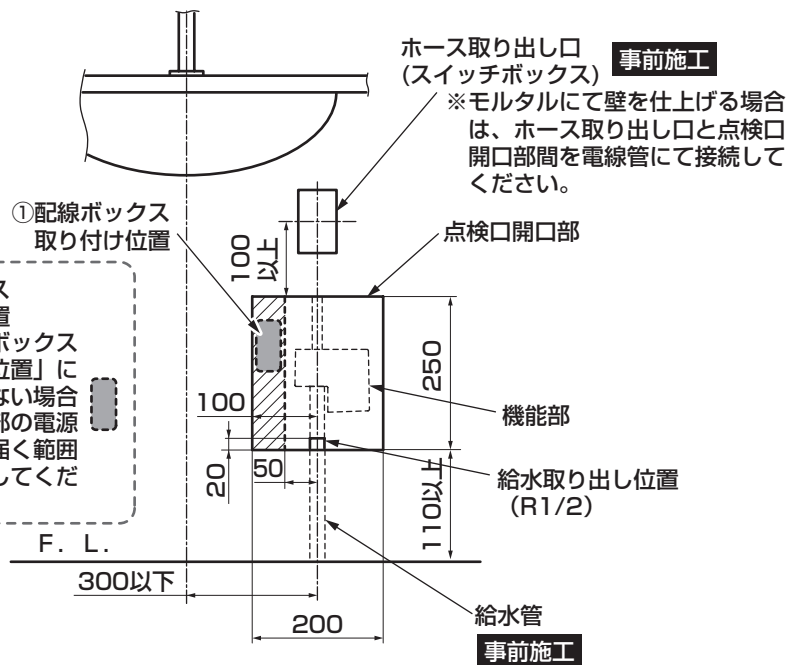
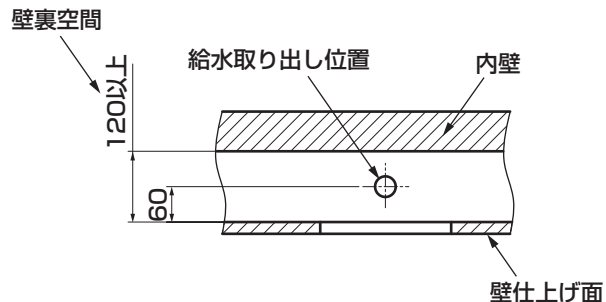
3. その他

- センサー面を傷つけないよう十分ご注意ください。
- インバーターや赤外線を用いた他の機器により誤作動することがあります。
- ステンレス製のコップやメッキを施した器具などには感知しない場合があります。
- クリーンドライ(温風乾燥器)などとのセットでは、クリーンドライのセンサービームが陶器内に入らないよう、それぞれを離してセットしてください。
- アクアオートは屋内用ですので、屋外では使用しないでください。
- 梱包前に通水検査をしていますので商品内に水が残っている可能性があります。商品には問題ありません。
- 水道工事と電気工事は、十分工程を打ち合わせのうえ、行ってください。

4

給水・電源・ホース取り出し口位置について

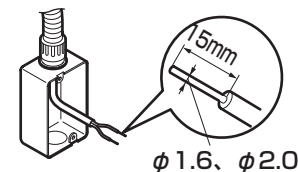
※給水位置についての寸法公差は寸法表示の±10です。



電源について

- 配線ボックスを左図の点検口開口部内「①配線ボックス取り付け位置」に設置し、電線を引き込んでください。
※配線ボックスとして、ユニバーサルボックスをご使用ください。
- ただし、排水管などと干渉し、点検口開口部内に設置できない場合は、「②配線ボックス取り付け位置」のように、機能部の電源コードが届く範囲内に別途開口部を設け、配線ボックスを設置して電線を引き込んでください。
※配線ボックスとして、スイッチボックスをご使用ください。
※機能部の電源コード長さは、750mmです。

＜電線の引き込み方＞

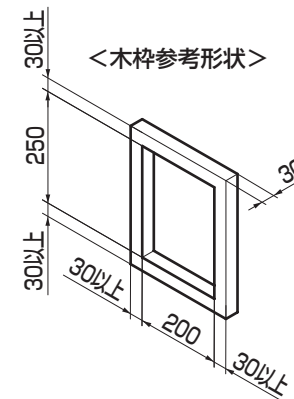


※配線ボックスの種類、取り付け位置により、電線の引き込み方向は異なります。

壁について

- 十分な強度を確保するため、壁の下地は厚み12mm以上のコンパネを使用してください。
- 機能部点検口に木枠を使用する場合は、右図を参照して製作してください。
- 取り付け面がタイル、コンクリート壁の場合、点検口カバー固定には、市販のカーブプラグを使用してください。正しく施工が行われないと、取り付けが不安定になり、落下するおそれがあります。

＜木枠参考形状＞



ホース取り出し口について

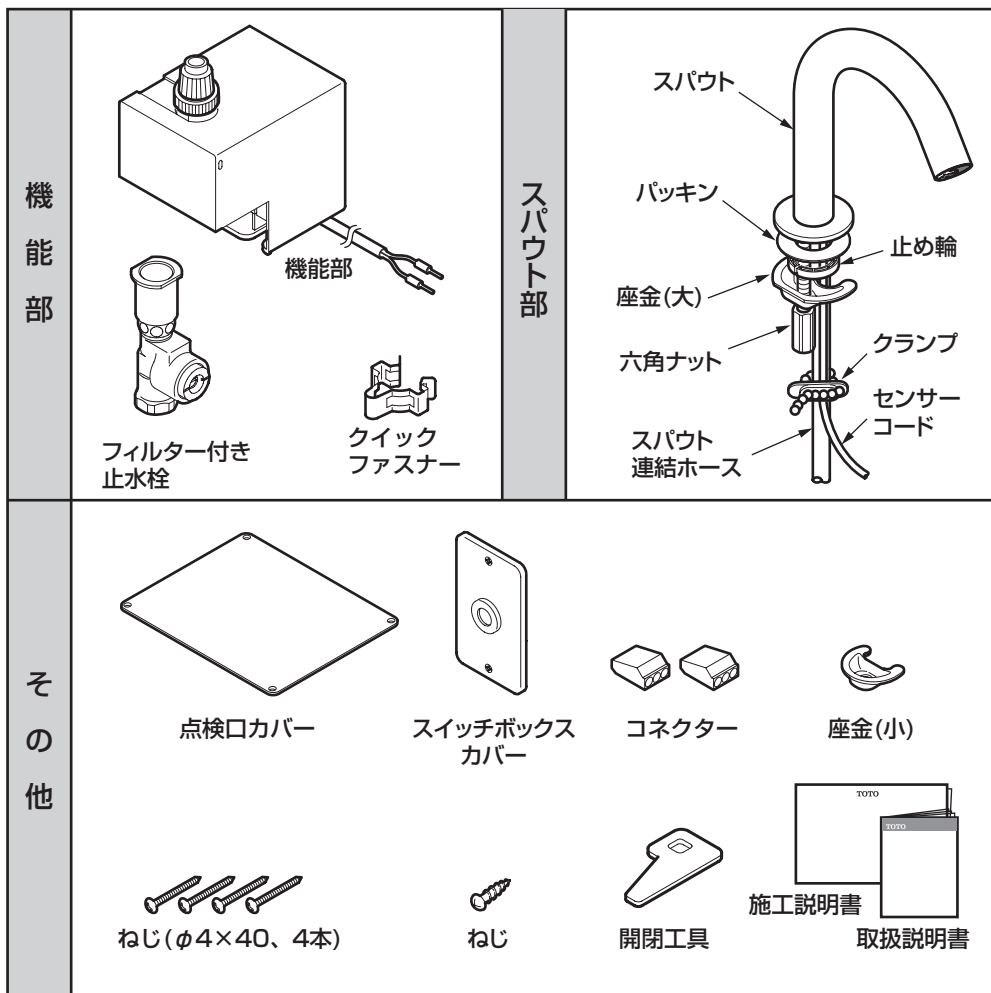
- ホース取り出し口としてスイッチボックスを縦置きに設置してください。横置きに設置されるとホースが折れ曲ることがあります。
- ホース取り出し口(スイッチボックス)のセンターと給水位置は、ほぼ同一直線上になるように設置してください。

その他

- ホース取り出し口、機能部、配線ボックスなどが、排水管、補強材などと干渉しないように十分ご注意ください。
- モルタルにて壁を仕上げる場合、ホース、センサーコード、電源コードは、電線管の中を通すようにしてください。直接モルタル内に埋め込まないでください。

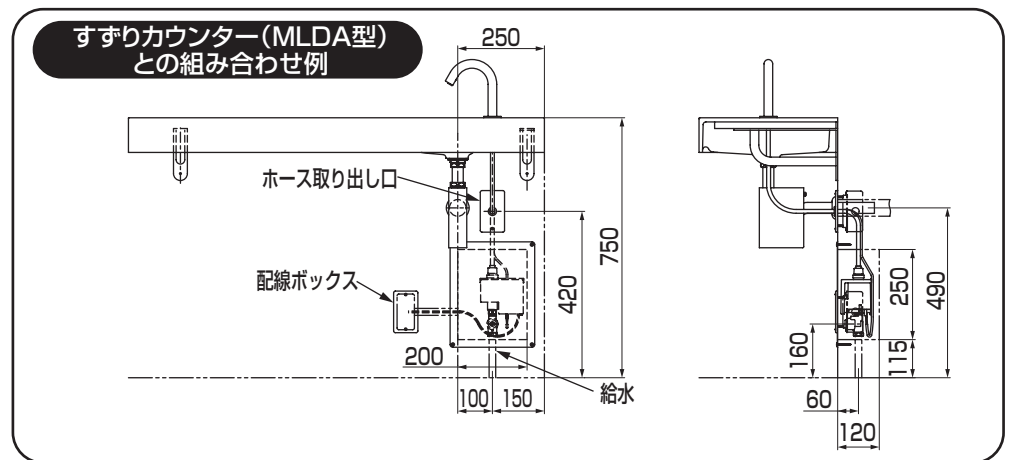
5 部品の確認

次の部品があることを確認してください。

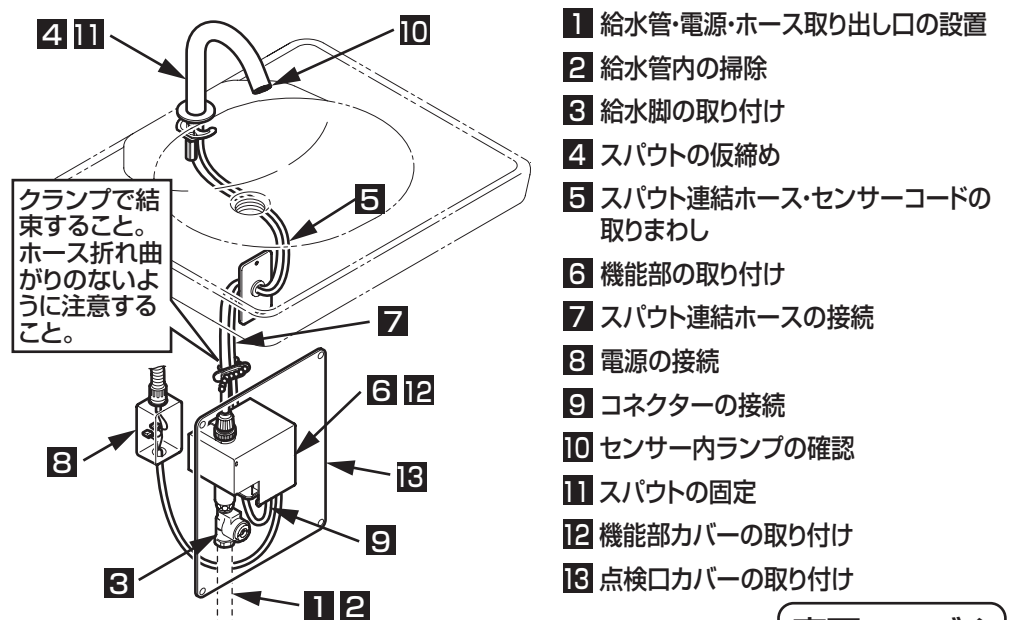


6 完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。



7.1 施工手順



裏面へつづく

1 給水管・電源・ホース取り出し口の設置

「**4** 給水・電源・ホース取り出し口位置について」を参照して、給水管・配線ボックスおよびホース取り出し口を設置する。

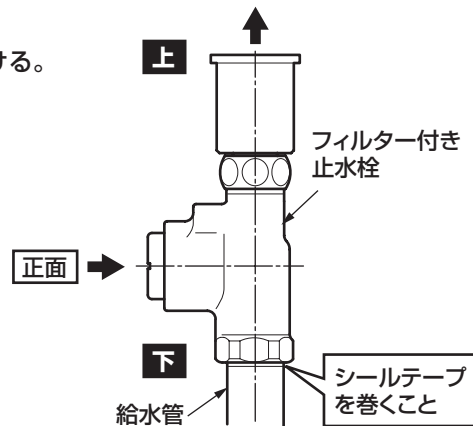
2 給水管内の掃除

取り付ける前に **必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

重要

3 給水脚の取り付け

給水管にフィルター付き止水栓を取り付ける。

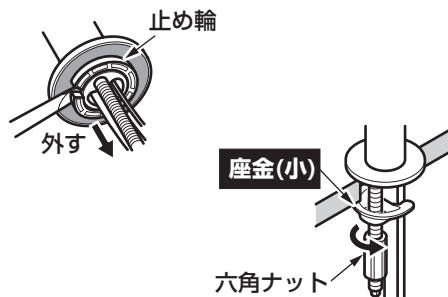


4 スパウトの仮締め

陶器取り付け穴φ25・φ28に取り付ける場合

- ①スパウト裏側の止め輪を取り外す。
- ②同梱の座金(小)に取り替える。

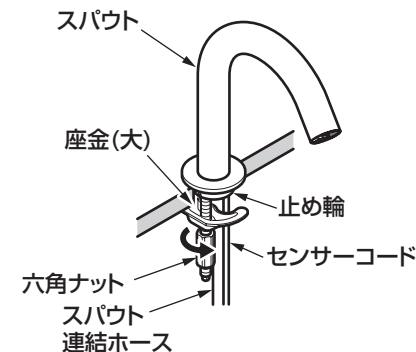
陶器取り付け穴	止め輪	座金
φ25・φ28	無	座金(小)
φ35	有	座金(大)



- ①スパウトを陶器取り付け穴に差し込む。
- ②吐水口を排水口方向に向け、座金を六角ナットで仮締めする。

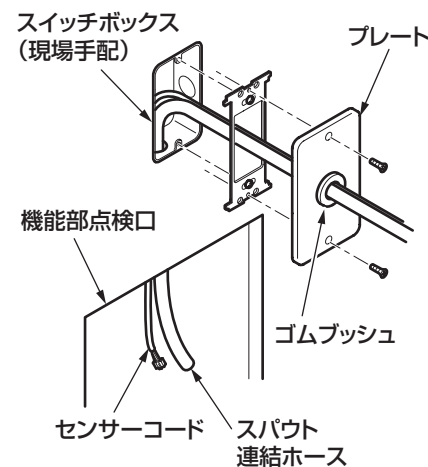
注意

- スパウト連結ホースとセンサーコードのかみ込みに注意してください。
- ステンレス製カウンターで補強板がない場合は、固めの補強板(合板など)を取り付けてください。



5 スパウト連結ホース・センサーコードの取りまわし

- ①センサーコード・スパウト連結ホースの順に、プレート・スイッチボックスを通し、機能部点検口から引き出す。
※ゴムブッシュはスパウト連結ホース・センサーコードが通るように十文字にカットしてください。



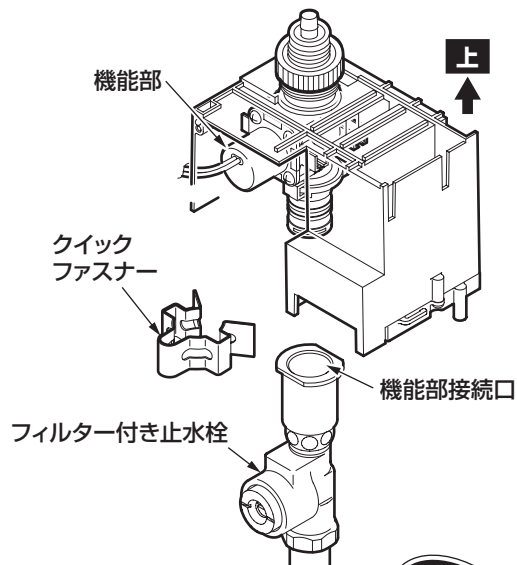
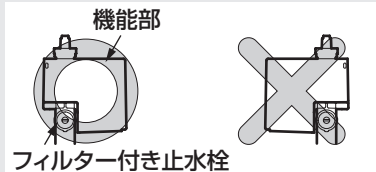
- ②プレートを取り付ける。

6 機能部の取り付け

- ①機能部をフィルター付き止水栓に取り付ける。
- ②クイックファスナーで固定する。

注意

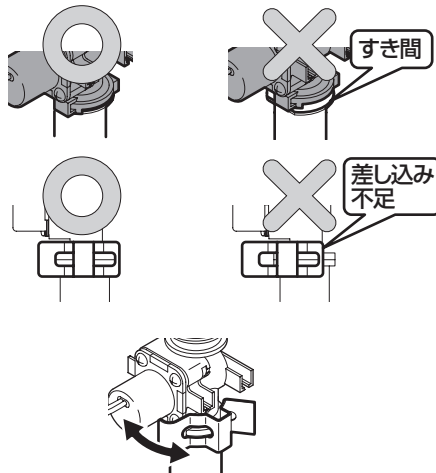
機能部は下記のように取り付け
てください。
不具合の原因になります。



クイックファスナー施工上の注意点

機能部はクイックファスナーで確実に取り付けてください。
取り付けが不十分だと、外れて水漏れの原因となります。

- 機能部はすき間がないように確実に差し込む。
- クイックファスナーの溝にツバが全周にかかっていること。
- クイックファスナー取り付け後は、必ず左右に回して確実に取り付けられていることを確認する。

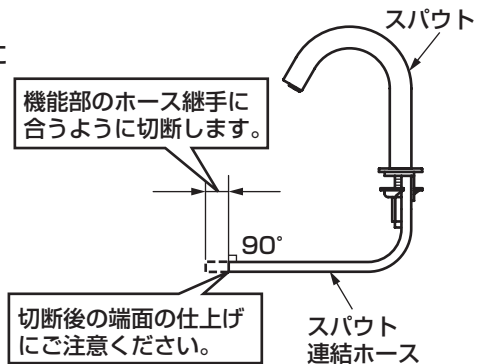


7 スパウト連結ホースの接続

- ①スパウト連結ホースを機能部のホース継手に合うように適切な長さに切断する。

注意

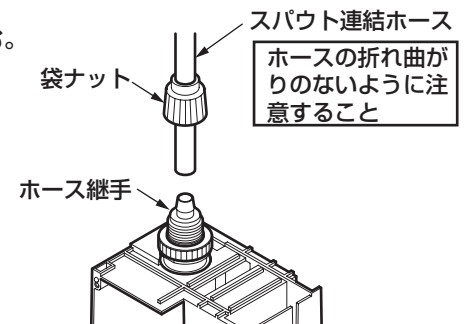
- カッターなどを用い、切断面が垂直になるよう行ってください。
- スパウト連結ホースが長すぎると、折れ曲がりによる吐水不良のおそれがあります。



- ②スパウト連結ホースに袋ナットを通す。
- ③スパウト連結ホースをホース継手に差し込む。
- ④袋ナットを手で締め付ける。

注意

- スパウト連結ホースが確実に差し込まれているか確認してください。
- スパウト連結ホースが折れ曲がることのないように注意してください。



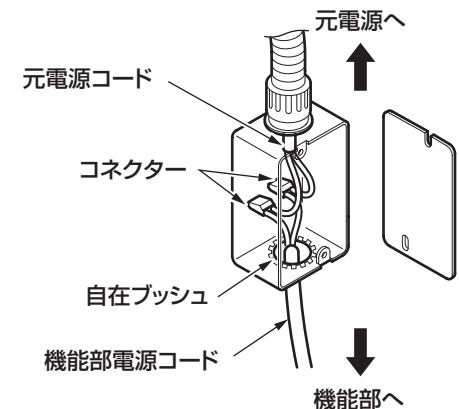
8 電源の接続

機能部電源コードと元電源コードをコネクターで接続する。

※電源コードは、コネクターに根元までしっかり差し込んでください。

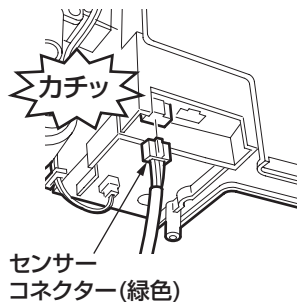
注意

- 元電源が切られていることを確認してから工事してください。
- 電気工事は関連する法令・法規に従って有資格者(電気工事士)が行ってください。



9 コネクターの接続

センサーコネクタ(緑)をカチッというまで差し込む。



10 センサー内ランプの確認

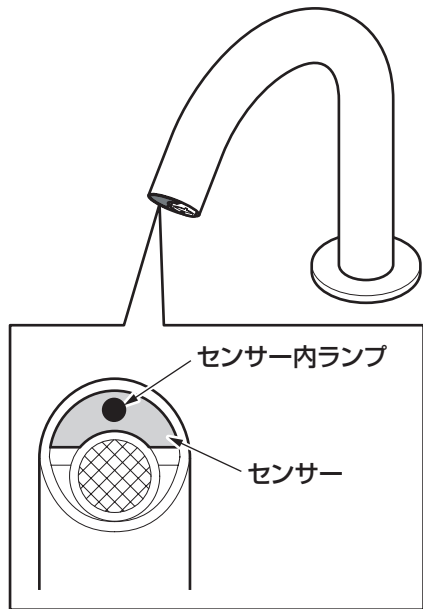
センサー内に手をかざしたり、陶器内に物を置いたりしない状態で、スパウトのセンサー内ランプが点滅していないことを確認する。

※もしも点滅していれば、スパウトの向きを少し変え、点滅しないところに調整してください。

注意

- センサー内ランプの確認をする際は、必ずセンサーを陶器のボウル面中心に向けてください。
- 陶器の種類によっては、センサー内ランプの点滅が消えないことがあります。その場合はそのまま設定してください。(ランプの点滅は約10分後に消えます)

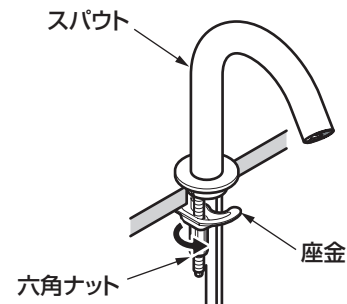
※電源を入れて約10分後にランプの点滅は自動的に消えます。自動に点滅が消えるまでにスパウトの向き調整作業が完了しなかった場合は、センサーコネクタを一度抜き、差し込み直してください。



11 スパウトの固定

六角ナットを締め付け、スパウトを陶器に固定する。

- ※六角ナットの締め付け用として、専用工具(別売:TZ40L)を準備しておりますが、下記的一般工具でも取り付け可能です。
- ・ソケットレンチ(対辺13mm)
 - ・T型レンチ(対辺13mm)
 - ・ナットスピナーハンドル(対辺13mm)

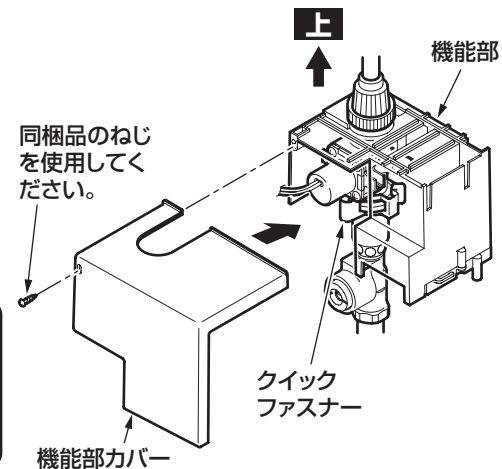


12 機能部カバーの取り付け

- ①コネクタが確実に接続されているか、クイックファスナーが確実に差し込まれて固定されているか確認する。
- ②機能部カバーを取り付け、ねじで固定する。

注意

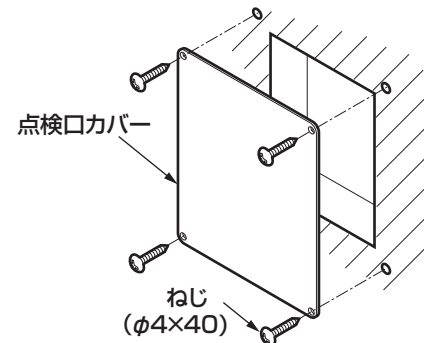
- 機能部カバーは確実に取り付けてください。
- 機能部の取り付け向きを確認してください。



13 点検口カバーの取り付け

「8 試運転および調節」・「9 点検項目」完了後、点検口カバーをねじ(4本)で壁に固定する。

※取り付け面がタイル・コンクリートの場合は、市販のcurlプラグを使用してください。



8

試運転および調節

1. 試運転

取り付けが完了したあと、次の方法で試運転を行ってください。

① 水漏れの確認

止水栓を開き、連結管やスパウト連結ホースの接続部から水漏れがないか確認してください。

② 水を出す・止める

- 吐水口に手を近づけると水が出ます。
- 手を離すと約1~2秒後に水が止まります。
- 設置後すぐは、エアーがみにより流れが乱れることがあります。その場合は、数回水を出し止めてください。
- 手を約1分間連続して感知すると自動的に止まります。
(センサー感知は学習方式のため、手を動かさないでいると約15秒で水が止まります)
- センサー前面から約2cmの位置に白い紙など反射しやすい物を感知させると、最大1分間水を出すことができます。

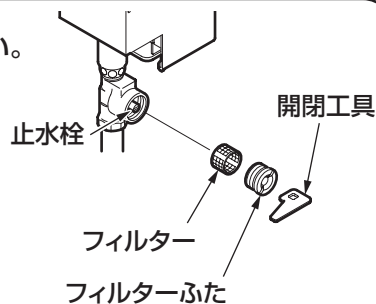
※正常に動作しない場合は、「7-4 施工手順」の「9 コネクターの接続」から再度ご確認ください。

2. フィルターの掃除

取り付け後は必ずフィルターを掃除してください。

フィルターが詰まると流量が少なくなったり、十分な機能が発揮されなくなります。また、お客様にもときどき掃除していただくようにご説明願います。

※フィルターを掃除する際は、付属の開閉工具で止水栓を閉めたあと、フィルターふたを外してください。

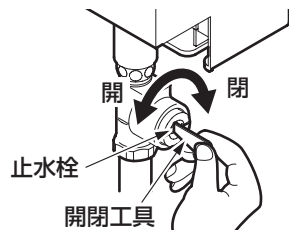


3. 流量の調節

機能部内部に、定流量弁(4L/分)を内蔵していますので、流量の調節は不要です。

止水栓は全開 でご利用ください。

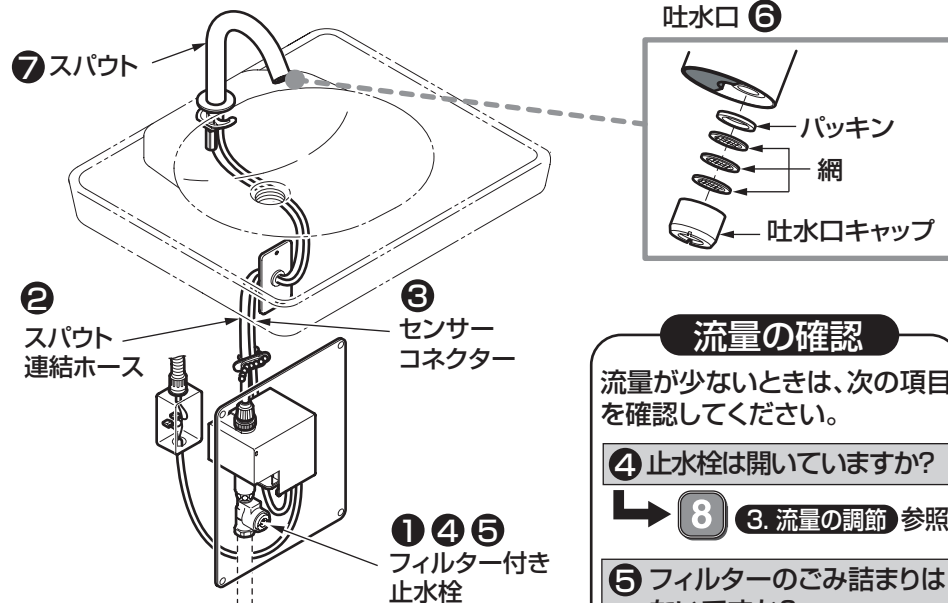
ただし、水の勢いが強すぎて衣服などをぬらすおそれがある場合は、付属の開閉工具で止水栓を回して、流量を調節してください。



9

点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。



流量の確認

流量が少ないときは、次の項目を確認してください。

④ 止水栓は開いていますか?

➡ 8 ③. 流量の調節 参照

⑤ フィルターのごみ詰まりはないですか?

➡ 8 ②. フィルターの掃除 参照

⑥ 吐水口のごみ詰まりはないですか?

➡ 吐水口の掃除をする。

ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

⑦ スパウトのガタツキはないですか?

➡ 7-4 - ⑪「スパウトの固定」参照

水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

① 止水栓部の水漏れはないですか?

➡ 7-2 - ③「給水脚の取り付け」参照

② スパウト連結ホースはしっかり接続されていますか?

➡ 7-3 - ⑦「スパウト連結ホースの接続」参照

コネクターの確認

コネクターがしっかり差し込まれているか確認してください。

③ コネクターはしっかり差し込まれていますか?

➡ 7-4 - ⑨「コネクターの接続」参照

※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。